

スポーツ総合演習(3年生)

2年次に行った研究発表会（探究学習の成果発表）によってわかったことを活かすために現場に還元することは非常に大切です。

今回の3年生の「スポーツ総合演習」は、研究発表の内容を授業に活かしてみよう！ということで、研究授業を行いました。

研究発表は8つのグループで行いましたが、今回は「盗塁時における両足のスタンスと走速度」、「バットスイング」をテーマにしたグループが研究授業を行いました。

いざ、自分が教える立場になると、技術理論の理解はもちろんのことですが、それをいかにわかりやすく伝えることができるかというコミュニケーション能力が大事になります。

また、「自分の競技力を高める」だけでなく、「スポーツを共に楽しもう！」というプログラム作成、現場で指導する体験もスポーツ健康科学科の学びの中にあり、プログラムを柔軟にアレンジして場面に応じて工夫するなど貴重な体験をすることができました。



